

# Point

J R 東海 大阪修繕車両所分会分会情報  
No. 48 2010. 05. 20.  
発行責任者 坂東 貞男  
編集責任者 教 宣 部

シリーズ『リニア中央新幹線ってどうなの？』①

## リニア(東京－大阪間)自己負担約9兆300億円！！

先頃発表された勤労情報No3(2009年度決算と交通政策審議会  
会で説明する試算結果等について)によれば、①JR東海が中央新  
幹線の東京－大阪間の建設を自己負担で可能であること、②開業  
時期について、東京－名古屋間が2027年、大阪までが2045年にな  
るとの試算結果を発表しました。

JR東海の試算では、リニア中央新幹線(東京－大阪間)の建設  
費として約9兆300億円となっており、これをJR東海は自己負担  
で建設しようとして計画を進めているということです。

リニア中央新幹線を公共事業でなく一企業の単独事業として建  
設しようとしているのですが、これまで新幹線を始め、多くの大型  
プロジェクト(本四架橋神戸－鳴戸約4.7倍、東京アクアライン約3  
倍)がそうであったように計画時の建設費の試算より大幅に膨れ  
上がることが予想されます。

## 早くも計画修正、本当に自己負担で建設できるのか！？

これまでのリニア中央新幹線計画では、東京－名古屋間の開業  
時期が2025年でした。しかし、景気低迷や高速道路料金の割引制  
度などから2009年度の東海道新幹線の収入が前年比約8%減に  
なり、会社発足以来最大の落ち込みになったことなどから開業時  
期が上記のように2027年に修正されました。このように早くも修  
正しなければならないのが現在のJR東海を取り巻く状況です。

JR東海は、新幹線買い取り等の長期債務約5兆円を全社員の日  
々の努力で減らしてきましたが、現在でも3兆円あまりの借金を抱  
えています。リニア中央新幹線建設の会社試算では長期債務残高  
がピーク時でも過去の経験値の範囲を超えず(5兆円以内)として  
いますが、今後金利が上がることも考えられますので本当に大丈  
夫なのでしょうか！？

私たち社員にとって、会社の経営状況は労働条件等で直接的に  
身に降りかかることです。だからこそ絶対に第2の国鉄・JALにな  
らないよう職場から声を上げていきましょう！！